

一一 中国輸入税率改正一件 八三九

十二月十二日北京外交團會議ニ於テ Chinese Import Tariff 1902 改正ニ関スル支那政府ノ請求ヲ議シ獨米白及蘭ハ

各本国政府ニ支那ノ請求ニ同意スヘキ旨声明シタルモ公使中ニハ訓令ヲ有セサルモノアリ本件ニ付別々ニ行動スヘキコトニ決定シタリト支那駐劄英國公使ヨリ報告ニ接セリ英國政府ハ右關稅改正ニ關シ支那政府ニ正式承諾ヲ与フヘキ旨英國公使ニ訓令シタリ

八二九 十二月二十四日 牧野外務大臣ヨリ
在中国山座公使宛（電報）

中国輸入稅則改修問題考究中ナル旨通報ノ件

第六八〇号

在英井上大使ヨリ左ノ通り電報アリタリ（井上大使來電第

一九四号全文前掲ニ付省略）尙ホ帝国政府ハ意見ヲ決定スル基礎ヲ作ル為メ下本省ニ於テ外務大藏農商務三省間ノ會議ヲ開キ從来ノ調査ヲ基トシ現実五分稅カ實際我對支貿易ニ如何ナル影響ヲ及ホスカノ事實ヲ精査中ニテ其ノ結果我國當業者ノ希望及列國ノ態度等ヲ參照シ我態度ヲ決定スベキ筈ニ付右様御含アレ尚本件ニ關スル貴官ノ御意見御申越アリタシ

事項一二 雜 件

一、阿部政務局長稿「支那ニ關スル外交政策ノ綱領」

二、対支同志聯合会ノ旨趣書及規約書並滿蒙問題理由書

一、阿部政務局長稿「支那ニ關スル外交政策ノ綱領」

八三〇 阿部政務局長稿「支那ニ關スル外交政策ノ綱領」

領」（大正二年稿）

一 滿蒙問題

支那ニ關スル吾外交ノ要義ハ其独立及領土ノ保全ニ在リテ帝國ハ須ク南滿洲及之ニ接通スル内蒙古東部ヲ割取シテ以

テ該方面ノ問題ヲ解決スヘシト云フニアルモノノ如シ

然レトモ此ノ如キ企図ハ

第一到底支那ノ承諾ヲ得ル能ハス

第二支那領土保全ノ主義ト衝突シ日英同盟、日露協約、日仏協約、日米協商等ノ明文ト矛盾シ

第三若シ猶之ヲ断行センカ其帝國ニ及ホス累ヤ甚大ナルヘク

從來往々滿洲問題解決論ナルモノ漠然世人ニ唱道セラル

アリ又近頃第三回日露協約ニ依リ我勢力範囲ヲ内蒙古東部ニ拡張シタルニ伴ヒ所謂滿洲問題ヨリ更ニ一步ヲ進メ滿蒙

問題解決ナルモノ人口ニ上ルニ至リ殊ニ露國ノ外蒙古ニ対スル最近ノ行動等ハ動モスレハ我物論ヲ刺戟シ益々滿蒙問

題解決論ニ口実ヲ与フルカ如シ茲ニ於テカ滿蒙ニ關スル帝國ノ方針ヲ此際明確ニ決定スルノ必要アリト認ム惟フニ論

者ノ所謂滿蒙問題解決ナルモノハ往々領土ノ獲得ヲ意味シ

（イ）支那官民ノ抗争已マス内ハ日貨非買ノ風潮ヲ起シ外ハ世界ノ公論ニ訴ヘテ我國ヲ牽制スヘク独リ通商貿易ノミナラス我官民ノ支那ニ於ケル施設經營ハ皆之カ影響ヲ蒙リ對支經濟的活動ハ總テ其發展ヲ妨ケラレ就中我工業中支那市場ヲ主タル目的地トスルモノハ最大ノ打撃ヲ被ムルノ虞アリ

（ロ）吾外交ハ独リ信ヲ支那ニ失スルノミナラス盟邦并与

一二 雜件 八三〇

シ

國亦猜疑ヲ深フシ帝国ノ言國際ノ議場ニ重ヲ為ササル

ニ至ルヘク從テ支那ニ於ケル我發言權ノ行使ニ多大ノ

不使ヲ感スルヤ必セリ

(ハ) 帝国自ラ支那領土ノ保全ヲ破壊センカ他國ノ口実

ヲ之ニ藉ルヲ防止スルニ由ナク支那分割ノ端ヲ啓キ遂

ニ一衣帶水ノ大陸ニ幾多強國ノ盤踞ヲ見ルニ至ルノ虞

アリ

(ニ) 三十七八年戰後日露協約ノ成ルヲ見タルハ畢竟両

國カ支那ニ對スル關係上滿洲ニ於ケル彼我利益ノ共通

ヲ感シタルニ因レリ然ルニ若シ帝國ガ南滿乃至内蒙東

部ヲ割取センカ露國ハ北滿ハ勿論外蒙古ヨリ更ニ内蒙

古西部ヲ併合シ進ンテ新疆、甘肅、陝西及山西ヲ窺窬

スルニ至ルヘクスクリテ支那ヲ滿蒙ヨリ驅逐シタルノ結

果日露ハ滿蒙方面ニ於テ直接相触レ兩國利害ノ衝突極

メテ銳敏激甚トナルヘシ蓋シ從來滿洲ニ於テ彼我ノ間

利害ノ多少相一致セサルモノアリシモ支那ナル共通ノ

標的アリテ相警メシカ為其衝突顯著ナルヲ免レシモ滿

蒙分割ノ結果ハ兩國利害ノ扞格極メテ露骨トナリ日露

協約ノ精神ヲ将来ニ支持スルコト到底不可能トナルヘ

第四國家ノ財政ニ更ニ甚大ノ困難ヲ來タシ國運發展ノ全局

ニ容易ナラサル支障ヲ生スルノ弊アリ蓋シ帝國カ滿蒙ニ

新領土ヲ獲得センカ其施政ニ多大ノ経費ヲ要スルノミナ

ラス之力防備ノ為大ニ師団ヲ増設シ巨額ノ軍費ヲ支出セ

サルヘカラス其面積ノ大ト形勢ノ必要トニ鑑ミルニ地方

ノ安寧靜謐ヲ期シ支那ニ對スル警戒ヲ顧慮スルト共ニ殊

ニ新ニ北滿方面ニ兵力ヲ増加スヘキ露國ニ對シテ防備ヲ

全フセント欲セハ独リ滿蒙方面ニ於ケルノミナラス朝鮮

ニ於テモ亦之ニ相應スル軍事的施設ヲ行ハサルヘカラス

從テ我軍事上ノ負担寒ニ堪フヘカラサルモノアルヘシ

此ノ如キハ實ニ帝國ノ財政及經濟ニ非常ノ圧迫ヲ加フル

モノニシテ之カ為諸般ノ經營ニ障害ヲ及ホシ全局ニ於ケ

モニシテ我軍事上ノ負担寒ニ堪フヘカラサルモノアルヘシ

方今國政ノ急務ハ財政ノ堅実ヲ國リ經濟ノ發展ヲ助ケ大ニ

國富ヲ增進スルニ在リ故ニ對外關係ニ於テハ專ラ平和的ノ

方法ニ依リ通商ノ拡張其他經濟的利權ノ伸長ヲ眼目トシ以

テ國富民力ノ旺盛ヲ期セサルヘカラス徒ラニ領土獲得ノ名

義ニ眩惑シテ輕々之ヲ強行セントスルカ如キハ此際最モ避

ケサルヘカラサル所ナリト認ム露國カ北滿ニ對シテハ勿論ノコト最モ同國ノ為形勢ノ便アル外蒙古ニ對シテスラ猶且支那ノ宗主權ヲ認メテ以テ領土侵略ノ譲ヲ避ケントスル所以モ亦一ニハ支那領土保全ノ國際約款ニ憚ル所アルニ因ラスンハアラス若シ帝國ノ行動ニシテ赤裸々ニ此根本主義ヲ破壞スルカ如キコトアランカ支那分割ノ端ヲ啓キ遂ニ收拾スヘカラサル事局ヲ生スルニ至ルヘシ

如上ノ理由ニ由リ滿蒙ニ對シテハ新ニ領土獲得ヲ目的トスルカ如キ企図ハ之ヲ念頭ニ存セス現在ノ我地位ヲ基礎トンテ經濟的平和ニ之カ確保發展ヲ遂ケンカ為大体左ノ要目ニ依リ努力行動スルコトヲ必要ト認ム

一 関東州租借地問題

關東州租借地ハ滿蒙方面ニ對スル我利權ノ根底、活動ノ基点ニシテ帝國ト該租借地トノ歴史的關係ニ顧ミ現行期限ノ満了ニ至リ帝國カ之ヲ拋棄スルカ如キハ苟モ公平ノ見識アラモノノ予期セサル所ナルカ故永久動カサルノ決心ヲ以テ之ニ處シ（加藤男爵義ニ英國ヲ辭スルニ方リ同国外相「サードワード、グレー」ヲ訪問シテ特ニ此意ヲ内話セシニ外相ハ善ク之ヲ諒シ後日ノ為記錄ニ留ムヘキコトヲ明言

セリ参考ノ為記ス）期限問題ノ如キ之ヲ意ニ介シテ必スシモ強テ予メ其延長ノ為齟齬スルコトナク適當ノ機會ニ他ニ何等故障ヲ及ホサシテ永遠ニ我地位ニ付支那ノ明諾ヲ領シ得ル場合ハ兎モ角然ラスンハ特ニ代價ヲ払ツテ之ヲ試ムル迄ノ要ヲ見ス畢竟帝國自ラ永久ニ我地位ヲ支持スルノ決心ヲ以テ時ノ宜シキニ處スレハ可ナリ他日若シ支那ヨリ之カ還附ヲ逼ラハ我ハ只消極的ニニ応セサルノ態度ヲ執レハ足レリ英國カ今仍ホ威海衛ヲ撤退セサルカ如キ必スシモ充分ノ理由アルニ非スト雖支那カ積極的ニ驅逐スルノ実力ナキ限り如何トモ為ス能ハサルノ一例ナリ

一 南滿洲鐵道問題

本鐵道ハ滿洲及ヒ延テ内蒙古ニ於ケル帝國利權ノ根幹原流タルモノナルカ故其本線ト枝線トノ別ナク總テ經營ヲ永遠ニ把握スルノ決心ヲ以テ適當ノ時期ニ於テ必ス之カ權利ノ更新延長ヲ重ネ以テ吾地位ノ支持發展ニ努メサルヘカラス

一 經濟的利益ノ伸長

ノ増殖ヲ期シ以テ此方面ニ於ケル帝国ノ地位ヲシテ益々鞏固ナラシムルヲ急務トス

惟フニ吾自ラ新ニ滿鉄ノ給養枝線ヲ敷設スルノ特権ヲ支那ヨリ獲得スルカ如キハ今マ既ニ望ミ難シト雖支那ヲシテ満鉄其他我資本家ニ依頼シテ借款ヲ起サシメスル給養枝線ヲ敷設セシムルヲ得ハ我事足ルヘク若又支那自ラ力アラハ必スシモ借款ニ頼ルニ及ハス自國ノ資本ヲ以テ敷設セシムルモ可ナリ

支那ヲシテ満洲全部ヲ外国人ノ居住通商ノ為開放セシムルコト亦今日遽ニ行ハレ難シトセハ例へハ新ニ南滿ノ海竜、興京、北滿ノ伯都訥（新城府）等適當ノ市邑ヲ選ンテ開放地ヲ増サシムルカ如キ或ハ某々地方ヲ指定シ若ハ開放地周囲若干里内ヲ限局シ水田其他農業經營ノ自由ヲ認メシムルカ如キ何レモ吾ニ於テ之カ目的ノ貫徹ヲ期センカ為適當ノ機会適當ノ方法ヲ以テ努力ヲ試ムルヲ必要ナリト思考ス

北滿洲ハ露國ノ勢域ニ屬スルヲ以テ彼我協約ノ規定ニ顧ミ露國ノ地位ヲ尊重セサルヘカラサルハ勿論ナリト雖之ト同時ニ單純ナル通商及經濟上ノ活動ニ於テハ同方面ニ對シテモ邦人ノ益々力ヲ伸ハサンコトヲ希望セサルヲ得ス蓋シ北

設ヲ以テ邦人居住通商ノ便利ヲ得ンカ内蒙古方面ニ我商品ノ新販路ヲ開拓シ各地ノ土産亦我工商業ノ發展ニ資スルモノアルニ至ルヘシ尤モ前掲二案ノ速ニ成功スルト否トニ拘ラス此方面ノ利源ニ關シテハ我方ニ於テ未タ精確ナル専門的智識ヲ欠クヲ以テ平和的手段ト適當ナル組織トニ依リ専門的調査ヲ遂ケ漸次我經濟的關係ヲ密接ナラシムルコト緊要ナリトス

一 日露協約

帝國カ滿蒙ニ對シテ領土的企図ヲ為ササルコトハ前ニモ述ヘシカ如ク一面ニ於テ支那ト善隣ノ交誼ヲ維持スルト同時ニ他面ニ於テ露國ト協調ノ關係ヲ繼續スル所以ノ途ナリ帝國ハ自ラ領土的企図ヲ避ケ以テ露國ヲシテ一層野心ヲ逞フスルノロ実ヲ得ル能ハサランムルト共ニ滿蒙ニ關スル日露特殊ノ地位ニ付テハ互ニ之ヲ尊重シ常ニ意見ヲ交換シテ彼

我協約ノ精神ヲ持続スルコトヲ必要トス此ノ如クシテ始メテ帝國カ支那ニ對シテ益々善隣ノ交誼ヲ增進スルト同時ニ露國ト親善ナル關係ヲ維持スルコトヲ得ベク而シテ露國トノ協調ノ持続ハ一面ニ於テ支那ノ变幻頗ミ難キニ對スル奉制トナリ又一面ニ於テ露國ノ支那ニ對スル行動ヲ帝國ノ利

満ハ南滿ニ比シ面積遙ニ大ニシテ農產物頗ル豐富将来發展ノ余地少カラサルヲ以テ邦人ノ手腕ニ依リ同方面ニ於テ經濟上ノ優勢ヲ占ムルヲ得ハ斯テ滿洲全体ニ涉リテ我地位ヲ鞏固ナラシムル所以ニシテ露國ニ對スル關係ニ於テモ我ニ利スル所アルヘシ

若夫レ内蒙古東部ニ至ツテハ其我勢域ニ屬スルコト既ニ第三回日露協約ノ定ムル所ニシテ英仏モ亦之ヲ認メテ異議ナシト雖同方面ニ於テハ未タ事實上ニ我利權ノ樹立セラレタルモノナク且奥地ニ通スル鐵道ト外國通商ノ為開放セラレタル市邑トヲ欠キ邦人ノ活動ニ不便ナルヲ以テ成ルヘク速ニ機ヲ見テ左ノ措置ヲ執ルコトヲ必要ト認ム

（イ）支那ヲシテ滿鐵線路上ノ四平街ヨリ奉化県、鄭家屯ヲ經テ洮南府ニ至ル鐵道其他我方ニ於テ適當ト認ムル内蒙古枝線ヲ滿鉄又ハ他ノ日本資本家ヨリ借款ヲ起シテ敷設セシムルコト

（ロ）例へハ北ニ在シテハ鄭家屯、洮南府、南ニ在シテハ朝陽、赤峰等ヲ外國人ノ居住及通商ノ為開放セシムルコト

惟フニ鐵道ノ敷設ニ依ツテ運輸交通敏速ニ行ハレ開埠ノ新

滿蒙ニ於テ強テ領土的企図ヲ為スハ支那ニ對スル一般外交上帝國ノ為甚不得策ナルコト既ニ述ヘシ通ナルカ凡ソ滿蒙ニ關シ徒ラニ其声ヲ大ニシテ支那全般ニ於ケル我利益ヲ閑却スルカ如キハ極メテ慎マサルヘカラサル所ナリ支那一般ニ對スル政策トシテハ特ニ盟邦英國ト常ニ協調ヲ図ルト共

ニ最モ我通商ノ伸長ニ努メ各省到ル所ニ邦人ノ和平的活動ヲ進メ利益ノ扶殖、市場ノ開拓ヲ図ラサルヘカラス殊ニ中支那及南支那ハ人口稠密物資豊富從テ列國ノ競争激甚ナルヲ以テ用意周到我歩武ヲ進メテ地盤ヲ鞏固ナラシムルコトヲ要ス之力為執ルヘキ方法手段固ヨリ多様ナリト雖例へハ一般的措置トシテハ左ノ事項ノ如キ常ニ留意ヲ必要ナリト認ム

(イ) 日支兩國ノ言論殊ニ新聞紙ノ記事論説ニ注意シ相互通ノ誤解又ハ反感ヲ生スルコトヲ防止シ両官民間ノ親交融和ヲ期スルコト

(ロ) 日支商工業者互ニ來往視察ヲ重ネ殊ニ合辦其他ノ方法ニ依リ實業聯絡ノ密接ヲ図ルコト

(ハ) 支那ニ於ケル我金融機關ノ活動力ヲ充分ナラシム

ルコト若シ出来得ヘクンハ政府ニ於テ國資ノ金線ニ依

リ例ヘハ總額貳千万円以内ノ程度ニ於テ必要ニ応シ融通ヲ与フルノ辦法ヲ講究設定スルコト

(ニ) 各種事業ノ為支那ニ於テ活動シ得ヘキ人物ノ養生及利用

此外特別ノ施為トシテハ例ヘハ江西省ノ南昌安徽省ノ安慶

時期若ハ數量ヲ限定シテ米穀輸出ノ禁ヲ解カシムルカ如キ彼我ノ通商ヲ利シ我經濟的活動ニ益スル所以ノ途ナリ

若シ夫レ漢治萍公司ニ對スル我關係ノ如キ特殊ノ利權ニ至

ツテハ製鐵事業ノ将来ニ顧ミ適當ノ方法ヲ以テ今後益々其把握ヲ鞏固ナラシムルコト緊要ナリト江西省南潯鐵道ニ對スル我借款關係ノ如キモ亦之ヲ推拡シテ今後敷設セラル

ヘキ南潯鐵道其他同省内又ハ安徽、浙江、湖北、湖南、廣東諸省ニ跨ルノ有利線路ニ及ホスコトヲ得ハ極メテ妙ナル

ヘク而シテ鐵道借款ニ應セントスルニ於テ我國資本力ノ不足ハ固ヨリ之ヲ認メサルヲ得サルヲ以テ必要ニ從ヒ我当事者ト英仏等ノ資本家ト相提携シテ事ニ当リ利權ヲ共ニスル

ヲ適當ト認ム

一 福建省問題

福建省ハ我台灣トノ關係上固ヨリ他國ノ窺窓ヲ容ルスヘカラス嘗テ支那政府ヲシテ不割譲ノ約ヲ為サシメ其後日仏協約ニ依リ仏國政府ヲシテ同省ニ對シテ帝國カ特殊ノ利害關係ヲ有スルコトヲ確認セシメタリト雖未タ具体的ニ我利權トシテ同省ニ樹立セラレタルモノナク勢力ノ扶殖ニ於テ頗

ル久如セリ往年(一)廈門ヨリ福州ヲ經テ江西省南昌ニ至リ湖北省漢口ニ達スル鉄道及(二)南昌ヨリ浙江省杭州ニ至ル分岐線並ニ(三)福州三都澳線ノ敷設ニ關シ支那政府ト交渉シ又福建省内鉄道ノ敷設ニ外資又ハ外國技師ヲ用ヒントスル場合ニハ必ス先ツ日本ニ賴ルヘキコトヲ嘗テ申入置キタルモ爾来一モ成果ヲ見ス而モ從前台灣官憲等ノ行動ハ却テ同省人民ノ我ニ対スル猜疑ヲシテ深カラシメ動モスレハ疑惧ヲ生シ我施為ニ頗ル不便ナルモノアルカ如シ惟フニ福建ハ利源ノ豊富ヲ以テ鳴ルモノニ非ス邦人ノ著手經營スヘキ事業ハ他ノ諸省ニ尠カラサルカ故前陳ノ情勢ニ顧ミ臨機應變ノ必要ニ依ル場合ノ外強テ福建ニ於テ利權扶殖ニ関スル事功ノ急ヲ求ムルモ其効ナカルヘク寧ロ他国ノ行動ヲ監視スルト共ニ徐ロニ猜疑誤解ヲ釈カシメ人心ノ融和ヲ図リ平和的ニ漸次我經濟的根柢ヲ養成シ好機ヲ捉ヘテ利權扶殖ノ目的ヲ達スルニ如カスト認ム

一 領事館增設問題

支那ニ於ケル我利權勢力ヲ擁護伸長シ通商貿易ノ發展増進ヲ期スルニハ固ヨリ我商工業者ノ發奮努力ニ俟タサルヘカラスド雖成ルヘク多クノ開放地ニ領事官ヲ常派シテ我利益

ハ從來富各省ニ冠タリト称セラル四川ノ首府ニシテ既ニ他國領事官ノ常駐セルアリ又後者ハ雲南省ノ首府ニシテ仮領印度支那ヨリ所謂雲南鐵道ノ開通シタル以來世間ノ注意スル所ト為レルヲ以テ此等ノ地ニモ亦我領事官ヲ常時又ハ

臨時出張セシムルヲ有益ナリト認ム

一、満洲ニ於ケル朝鮮人問題

鴨綠江右岸一帯ノ満洲地方ニハ從前越墾居住ノ鮮人少カラス

殊ニ近來鮮滿地佃ノ高低ト生活ノ難易トヲ比較シ鮮人ノ移住スルモノ頗ル多キハ注意スヘキ事実ニシテ此趨勢ハ朝鮮ニ移住スル邦人ノ増加スルニ從シテ益々顯著トナルヘク

畢竟經濟的理由ト社會的竞争ニ基ク自然ノ現象即チ生活問題ノ結果ニ外ナラスシテ強テ人為ヲ以テ防止スヘキニ非スト認ム之ヲ帝国ノ利害ヨリ考フルモ年々増加スル我人口ノ過剩ニ對シ朝鮮ハ固ヨリ一ノ望マシキ収容地ニシテ殊ニ米大陸等ニ於テ邦人ノ移住ニ益々困難ヲ來タサントスル今日

ニ方リ鮮人ガ満洲ニ去テ本国ニ於テ余地ヲ邦人ニ存スルカ如キハ寧ロ喜フヘキ事ニ屬シ加フルニ鮮人ノ満洲移住ハ水田其他農業經營ノ發展ヲ來シ満洲ノ開發ト米價調節トニ幾分ノ貢獻ヲ為スノ益アルヘシ

然ルニ鮮人移住ノ増加ハ遂ニ支那官憲ノ注意スル所トナリ帝國領事裁判權ノ下ニ在ル多數移民ノ満洲内地ニ雜居スルコトハ其好マサル所ナルヲ以テ漸ク之ニ圧迫ヲ加ヘテ往々退去ヲ逼ルモノアルカ如ジ

一、外交ノ統一

外交ハ廟議ノ方針ヲ基礎頓テ專ラ外交機關ニ由リテ施行

セラルルヲ要シ苟モ同一政府ノ下ニ於テ他ノ機關カ之ト扞格スヘキ措置ニ出シルヲ容ルスヘカラス外交ノ統一ヲ期スルハ國策ヲ貫徹スルニ最モ必要ニシテ固ヨリ喋々ヲ俟タスト雖從來往々外交機關ニ依ル政府ノ方針以外ニ他ノ官衙力窃ニ一家見ヲ立テ其所管部下ヲシテ政府ノ方針ニ拘ラス行動セジムルカ如キ風説アルハ國家ノ為甚々遺憾トスル所ナリ若シ帝國諸機關ノ行動区々ニ出テ其間ニ脈絡統一ヲ欠カノガ到底十全ノ功ヲ奏スルヲ得サルノミナラス却テ吾外交ニ甚大ナル累ヲ及ホスコトアルヘシ

故ニ外交ハ總テ外務省ヲ以テ之ヲ統一シ陸海兩省ハ勿論參謀本部軍令部等ノ如キ諸官衙皆政府ノ方針ニ遵由シ決シテ之ニ背馳セサルノミナラス外交機關ノ要求ニ応シテ其活動ノ便ヲ圖ルコト肝要ナリトス從テ主務長官ヨリ支那各地駐屯軍司令官ニ對シテモ此点ニ關シテ充分ノ訓諭ヲ与ヘ将来毫モ誤解ナカラシムルハ勿論從來參謀本部軍令部等ヨリ支那各地ニ公然又ハ内密ニ派遣セル將校ニ對シテモ亦堅ク前記ノ趣旨ヲ銘記セシムルヲ急務ナリトス尚政府ニ於テ外交

仍テ本件ニ關シテハ今後ノ必要ニ應シ大体左ノ方針ニ依リテ支那ト交渉ヲ遂ケ鮮人ノ満洲内地ニ於ケル墾土居住及營業ヲ公認セシムルヲ得策ト認ム

一、開放地以外ニ於テモ居住、墾土及營業ヲ為スヲ得ルコト

一、開放地外ニ雜居スル鮮人ハ支那ノ法權ニ服従シ支那官吏ノ裁判管轄ニ歸スルコト但シ支那人民ニ比シ何等不利

益ナル待遇ヲ受クルコトナク殊ニ裁判ハ最モ公平ナラサルヘカラス日本官吏ハ自由ニ法廷ニ立会フヲ得ヘキコト尤モ人命犯ニ付テハ須ク先ツ日本領事官ニ知照スヘキコト

右ハ間島雜居鮮人ニ關スル日支協約ノ規定ニ則リタルモノナルカ鮮人ノ雜居区域ハ交渉ノ結果奉天吉林二省又ハ長春ヨリ關東租借地ニ至ル南満洲鐵道線路以東或ハ更ニ適當ノ範囲ニ限局スルモ可ナリ
鮮人帰化ノ問題ニ關シテハ固ヨリ之ヲ獎励スヘキニ非スト雖任意支那ニ帰化セントスルモノニ對シテハ之ヲ妨クルノ要ナシ尤モ支那官憲ノ強制ヲ防止スルニ注意セサルヘカラス

ノ統一ヲ保持スルノ必要上今後ハ左ノ諸項ヲ勵行スルヲ至當ト認ム

一、陸海軍官憲ニ於テ直接間接ヲ問ハス苟モ外交殊ニ對外交ニ影響ヲ及ホスヘキ行動ヲ執ラントスルトキハ予メ外務省ニ協議ノ上政府ノ方針ト矛盾セサルコトヲ確メタル後始メテ之ニ著手シ其經過モ亦絶エス之ヲ外務省ニ通報スルコト

二、陸海兩省又ハ參謀本部軍令部等ヨリ海外殊ニ支那ニ將校ヲ派遣スル場合ニハ公然ノ場合ハ勿論仮令内密ノ場合ト雖其官、姓名、目的、派遣地、訓令ノ内容等ヲ内閣總理大臣及外務大臣ニ通知スルコト

三、前項派遣員其他常置武官ノ情報ニシテ苟モ外交ニ關係アルモノ殊ニ支那方面ヨリノ情報ハ總テ之ヲ速ニ内閣總理大臣及外務大臣ニ轉送スルコト

四、在外派遣員及出先軍憲等ヲシテ特ニ第一項ノ趣旨ヲ牢記セシムルコト

惟フニ外交統一ノ実ヲ完フシ帝國各機關ノ協同一致ヲ以テ國策ノ遂行ニ當ルニ於テハ其間ニ何等ノ矛盾ヲ見ルコトナク諸般ノ經營ニ便利少カラサルヘシ

外交統一ノ問題ニ関シ茲ニ特ニ言及ヲ要スルモノアリ即チ
滿洲ニ於ケル我外交ノ統一及機関ノ協調是ナリ

滿洲ニ於テハ領事官力外務省ノ訓令ニ依リテ行動スルノ外
關東都督府アリテ涉外事務ニ干与シ又南滿洲鉄道株式会社
動モスレハ独立ノ渉外行動ヲ執ルノ嫌アリ加フルニ朝鮮總
督府ハ滿鮮接壤ノ關係ヨリ往々自家单独ノ見地ヲ以テ施為
ヲ試ミントスルアリ此等ノ原因ニ基キ滿洲ニ於ケル我外交

ニ屢々統一ヲ欠キ扞格ヲ生スルノ憂アリ因テ外交統一ノ必

要ニ關シ前段ニ説述シタル趣旨ハ特ニ滿洲ニ於テ之ヲ励行
シ朝鮮總督府ヲシテ其畛域ヲ守リ政府ノ方針ニ遵由セシム
ルト共ニ外務大臣ニ於テ關東都督府ノ監督ヲ嚴ニシ且滿鐵
ヲシテ外務省ノ旨ニ依ルノ外何等独立ノ渉外的行動ヲ執ル
ヲ得サラシムルヲ必要ト認ム

(大正二年稿)

註 阿部守太郎政務局長大正二年九月五日右翼刺客ノタメ遭
難翌六日歿ス

二、對支同志聯合會ノ旨趣書及規約書並滿蒙問題理由書

八三一 對支同志聯合會ノ旨趣書及規約書並滿蒙問題 理由書

旨趣書及規約書

開國進取ノ國是ニ拠テ東亜ノ文化ヲ扶植シ、世界ノ和平ニ
貢獻スルハ國家ノ大計ニシテ帝国ノ天職トスル所ナリ。帝
國ガ三十七八年露國ヲ膺懲シタルモ、四十三年韓國ヲ併合
シタルモ、一トシテ開國進取ノ國是ヲ遂行シタルニアラザ
ルハ無シ。而シテ支那ハ動亂ノ結果國運衰頽シテ統一ノ実
ヲ失ヒシニ際シ、露國ハ外蒙古ヲ経略シテ其勢力ヲ逞ウ
シ、英國ハ西藏ヲ操縱シテ其地歩ヲ占メ、東亜ノ均勢將ニ
破壞セラレントス。是レ豈帝國ガ袖手傍観スペキノ秋ナラ
ンヤ。

此時ニ当リ帝國ガ當ニ執ルベキ主義方針ハ開國進取ノ國
是ヲ恢弘シテ大陸政策ヲ確定シ列國ノ均勢ヲ支持スルト同

会シ奮テ血誠ヲ君國ニ披瀝セラレンコトヲ。

對支聯合會規約

一 本会ハ我帝國ノ支那ニ対スル方針政策ノ確立ヲ期シ滿
蒙問題ノ解決ヲ圖ルヲ以テ目的トス

二 本会ハ對支政策ニ關シ同目的ヲ有スル各團体及團体内
ノ有志ヲ以テ組織ス

三 本会ニ評議員三十名以上幹事五名以上ヲ置キ評議員ハ
会務ヲ議定シ幹事ハ会務ヲ處理ス

四 本会ノ評議員ハ總会ニ於テ之ヲ選挙シ幹事ハ評議員ノ
互選ヲ以テ之ヲ定ム

五 本会ノ總会ハ評議員会ニ於テ必要ト認メ又ハ會員二十
名以上ノ請求アル時ニ於テ之ヲ開キ会務ノ重要ナル事項
ヲ議決ス

六 評議員会ハ毎月壱回以上之ヲ開ク

七 本会ノ決議ハ評議員会ニ於テ實行委員ヲ選ビ其實行ニ
任ズ

吾人ハ今日ヲ以テ滿蒙問題解決ノ時機ナリト信ジ國論ノ帰

一ヲ國リ進テ政府ノ決行ヲ促サントシ茲ニ對支團体ヲ糾合
シテ對支同志聯合會ヲ組織ス。同感同志ノ士恵然トシテ來

註 右旨趣書及規約書並滿蒙問題理由書ト題セル「パンフレ

ット」ハ對支同志聯合會ガ我政府ノ南京邦人虐殺事件兎

州漢口凌辱事件ノ解決方ヲ手綴ルシテ内閣ノ退陣ヲ

要求セル決議文ニ添ヘ全國ノ各新聞社及有志家ニ配布シ

タルモノナリ警視庁ハ之ヲ九月十五日ノ同聯合會評議員

会ノ模様ニ關スル報告ト共ニ外務省ニ送付越セリ尚我政

府ノ軟弱外交攻撃ノ對支国民大会ガ九月七日比谷公園

ニ開催セラレタルコトニ關シテハ四二八文書參看